

試合番号 : 407	試合会場 : 久留米アリーナ	観客数 : 2,319			
開始時間 : 17:00	終了時間 : 18:27	試合時間 : 01:27			
主審 : 富田 博一	副審 : 岩井 好恵				
久光製薬スプリングス	通算 8勝 9敗 ポイント : 23	25 第1セット 18	0	ヴィクトリーナ姫路	通算 3勝 16敗 ポイント : 11
<b>監督コメント</b> V・ファイナルステージ進出に向けて、大切な一戦でした。姫路の得点源であるイブナ選手への対策と、自チームのオフェンスに目を向けて準備してきた試合だった。序盤から自チームのサーブとアタックが機能してリズムよく攻めたことと、サーブで主導権を握り相手のペースにさせなかったことが勝因だったと思います。ゲームゲームという中で、盛大なご声援に背中を押され、ファンの皆様と一緒に勢いに乗れたことは、今後につながる大きな勝利だったと思います。今日の勝利を生かし、来週の2戦でV・ファイナルステージ進出を決めたい。ナイトゲームにも関わらずたくさんのご声援、ありがとうございます。	<b>3</b>	25 第2セット 23	<b>0</b>	<b>監督コメント</b> 寒い中、たくさんのご声援をありがとうございます。スタートが悪かったこと、そして毎回同じことですが、サーブとサーブレシーブの数字が上がらないことには、試合になりません。サーブレシーブが悪いことで、アウトサイドに負担がかかり、ブロックポイントを献上し、相手のペースを崩すことができません。また、それぞれの選手の引き出しを増やしていくことなど、課題は尽きません。少しでも改善していけるよう働きかけていきたいと思ひます。来週はホームの姫路で、レギュラーラウンド最終戦を迎えます。ホームの応援の力を借りて、最後まで頑張りますので、ご声援よろしくお願ひいたします。	
		25 第3セット 21			
		第4セット			
		第5セット			
<b>要約レポート</b> プレミアカンファレンス4位の久光製薬スプリングスと6位のヴィクトリーナ姫路の一戦。第1セット、石井と井上のレフトからのスパイクで流れをつかむ久光製薬に対して、真包と金杉のスパイクを中心に得点を重ねる姫路との攻防が続く。石井の効果的なサーブでリードを奪った久光製薬が、第2セット、姫路は序盤からイブナのスパイクを中心にリードを奪う。一方、久光製薬はファビアナのライトからのブロード攻撃を中心に反撃し、終盤まで一進一退の攻防が続く。久光製薬のセッター栄が、姫路のブロックを寄せせない多彩なトスワークで得点を重ねて逆転し、久光製薬がセットを連取した。第3セットも久光製薬が石井、井上、新鍋のサイド攻撃と、岩坂とファビアナの速攻を織り交ぜながらリードを広げる展開となる。終盤、新鍋の連続ブロックでリードを広げ、最後は石井のスパイクが決まり久光製薬がストレートで勝利した。久光製薬は久留米でのホームゲームで勝利をあげ、V・ファイナルステージ進出へ一歩前進した。					

試合番号 : 408	試合会場 : ジップアリーナ岡山(岡山県総合グラウンド体育館)	観客数 : 2,300			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:02	試合時間 : 02:02			
主審 : 明井 寿枝	副審 : 北村 友香				
岡山シーガルズ	通算 12勝 4敗 ポイント : 35	25 第1セット 15	1	日立リヴァーレ	通算 6勝 13敗 ポイント : 21
<b>監督コメント</b> スタートから、日立の気の入った粘り強いプレーに押し切られる場面が多くありましたが、それに勝るファンの皆様のおかげで後押ししてくれ、それ以上の粘りあるプレーがポイントで出せたことが、勝利につながりました。寒い中、寒さを感じる暇もなくゲームが終了したことが、ホームならではの力だったと思います。明日はホーム最後の試合になりますが、会場での温かいご声援をよろしくお願ひいたします。本日はありがとうございます。	<b>3</b>	22 第2セット 25	<b>1</b>	<b>監督コメント</b> 本日も温かいご声援ありがとうございます。岡山の粘りある守備により、簡単には決めさせてもらえず、一進一退の打ち合いとなりましたが、大事な場面で点を取ることができませんでした。入念な確認や戦略を練って試合に臨みましたが、そのすべてを試合で出し切ることができずに負けたことを本当に悔しいと思ひます。しかし、このままの流れで行くのではなく、しっかりと切り替えをして、明日の試合に臨みたいと思ひます。明日もご声援のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。	
		25 第3セット 23			
		26 第4セット 24			
		第5セット			
<b>要約レポート</b> 先週の試合でファイナル8進出を決めた岡山シーガルズと、ファイナル8進出の為に負けられない日立リヴァーレの一戦。第1セット、岡山、日立とも粘りのレシーブでシーツの強打に対して、岡山は粘り強いレシーブで対抗し、徐々に流れをつかみ、更に要所でブロックも決まり、第1セットを先取した。第2セット、序盤は日立のブロックが決まり、日立がリードする展開となった。両チームともサイドからの攻撃が冴え、岡山もブロックで差を詰めるが、序盤のリードを守った日立が第2セットを奪い返した。第3セット、序盤から日立がタップのブロックと強打でリードするが、岡山・宮下(蓮)の巧みなトスによる多彩な攻撃やサービスエースなどで同点に追いついた。その後は両チームとも強打の応酬で接戦となったが、日立のミスもあり岡山が第3セットを奪った。第4セット、序盤からお互い一歩も譲らずラリーの応酬となった。中盤以降も両チームとも好レシーブの連続で接戦となるが、地元の大応援に応えた岡山が抜け出し、3-1で勝利を飾った。					

試合番号 : 409	試合会場 : ジップアリーナ岡山(岡山県総合グラウンド体育館)	観客数 : 1,600			
開始時間 : 16:00	終了時間 : 17:28	試合時間 : 01:28			
主審 : 種元 桂子	副審 : 吉岡 奈々				
デンソーエアリービーズ	通算 15勝 2敗 ポイント : 42	25 第1セット 17	0	NECレッドロケッツ	通算 8勝 8敗 ポイント : 24
<b>監督コメント</b> 今日多くのご声援を頂いたことを深く感謝いたします。ありがとうございます。序盤はサーブが走り、有利な展開に持ち込むことができました。途中から相手のライトサイドからの攻撃で点数を取られる場面がありましたが、ゲームの中で修正することができました。今日も代わって入った選手が活躍してくれ、我慢もでき、勢いも作れました。良い準備をして、明日に臨みたいと思ひます。ありがとうございます。	<b>3</b>	25 第2セット 22	<b>0</b>	<b>監督コメント</b> レギュラーラウンドで1セットも取れないデンソーに対して、どう対策していくかしっかり準備して挑みました。1セット目から2セット目にかけて、相手のオフェンスには対応していたと思うが、ロングラリーになった時、ラリーを制しきれないことが多く、また、サーブで相手のペースを崩す展開も少なかったこともあり、相手が良い状態で攻撃する場面が多かったと思ひます。明日の試合までに修正できることをチーム全体で再確認し、しっかり準備できた状態で明日も戦います。本日もたくさんのご声援ありがとうございます。	
		25 第3セット 16			
		第4セット			
		第5セット			
<b>要約レポート</b> 現在、プレミアカンファレンス1位のデンソーエアリービーズと3位のNECレッドロケッツの対戦。第1セット、序盤からデンソーが固いディフェンスでリードを広げる。中盤、NECも粘りを見せるが、田代の巧みなトスワークで要所のポイントを取ったデンソーが第1セットを先取した。第2セット、序盤からNECが好レシーブを連発しリードを広げる。しかし、中盤からデンソー・森谷のサーブが効果的に決まり、逆転に成功する。その後、NEC曾我、デンソー・工藤を中心に両チーム打ち合いになるが、最後は、多彩な攻撃でデンソーが得点を重ね、セットを連取した。第3セット、中盤までNEC柳田と曾我、デンソー・中元の活躍で一進一退の攻防を繰り返すが、終盤に入り、デンソーが兵頭のサーブから6連続ポイントで抜け出し、そのままセットを奪い、デンソーがストレートで勝利した。					

試合番号 : 410	試合会場 : いしかわ総合スポーツセンター	観客数 : 714			
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:19	試合時間 : 01:19			
主審 : 中山 健	副審 : 澤 達大				
PFUブルーキャッツ	通算 3勝 16敗 ポイント : 11	18 第1セット 25	0	トヨタ車体クインシーズ	通算 12勝 7敗 ポイント : 32
<b>監督コメント</b> 得点につながるプレーが少なく、失点の多いゲームとなってしまいました。最後のホームゲームで勝利を飾ることが出来ず、大変残念ですが、来週はレギュラーラウンド最終戦となりますので、引き続き応援よろしくお願ひいたします。本日も沢山の応援ありがとうございます。	<b>0</b>	15 第2セット 25	<b>3</b>	<b>監督コメント</b> 厳しい戦いが続いていた中で、現実を見つめ課題と向き合い、懸命に練習に取り組んで来た結果、変化と向上が見られた試合となりました。選手同士のコート内外のコミュニケーションが深まり、意思の疎通が図れ、劣勢を打開できたと思ひます。勝因は、サーブとブロック戦術の攻撃性が増したのと、サイドアウト段階でパスが乱れた状態のスパイクの工夫でサイドアウトの確率が80%近くになった点だと思ひます。全てはチームの長所をさらに際立たせる為に、この試合で出た課題や改善点を検証して次戦に向けて準備していきます。応援して下さる皆様へ、気持ちの伝わるプレーをする事で感謝を表していきます。ありがとうございます。	
		17 第3セット 25			
		第4セット			
		第5セット			
<b>要約レポート</b> 令和元年最後のホームゲームのPFUブルーキャッツと、さらなる上位を目指すトヨタ車体クインシーズの一戦。第1セット、PFUドリス、トヨタ車体ナリマンの強打で試合が動く。堅守で中盤リードしたトヨタ車体が先取する。第2セット、16-13とトヨタ車体がリードすると、山上、内瀬戸、荒木のブロックポイントで突き放し、このセットも獲得する。第3セット、PFUはセッター島崎を起点に堀口、津賀が攻撃。山下、倉屋の2枚替えて攻撃の手を緩めない。しかし、地力に優るトヨタ車体が落ち着いた試合運びをし勝利した。					

試合番号 : 411		試合会場 : ベイコム総合体育館				観客数 : 1,900						
開始時間 : 12:05		終了時間 : 14:42		試合時間 : 02:37		主審 : 服部 篤史		副審 : 佐々木 伸子				
JTマーヴェラス		通算	15勝	4敗	25	第1セット	21	埼玉上尾メディックス		通算	11勝	6敗
			ポイント :	44	25	第2セット	18				ポイント :	33
監督コメント	埼玉上尾を迎えてのホームゲーム。埼玉は高さを活かした攻撃力のあるチーム。試合を通して互角な戦いになったが自分たちのミスにより相手に流れを持って行かれました。ホームゲーム、多くの方々に声援を頂き感謝申し上げます。しっかりと課題を修正し明日も会場の皆様とひとつになり精一杯戦っていきます。本日の応援ありがとうございます。		2				3	監督コメント	本日はスターカンファレンス1位、アウェイでの対戦。ここから上位を目指す私たちにとって非常に大切な一戦でした。第1~4セット目まではファーストテクニカルタイムアウトが取れているものの中盤、終盤で追いつかれてしまったことは今後の課題としていきます。1、2セット目はブロックとディフェンスの関係が少し上手くいかず、相手の強力なオフェンスに対応できなかったが、3セット目以降は、相手の強力なオフェンスに対して高さのあるブロックと固いディフェンスが機能し始め、途中交代で入った福永のトスワークでチームのオフェンスに再び火が灯り、勝利することが出来ました。明日も大事な一戦を迎えます。引き続き応援よろしくお願いします。			
要約レポート												
JTマーヴェラスのホームゲームに埼玉上尾メディックスを迎えての一戦。第1セット、JTドルーズと埼玉上尾シュニャルの打ち合いで中盤まで接戦となる。終盤、JTはドルーズの強打が連続して決まり先取る。第2セット、13-13までもつれ込んだ展開となるが、JT田中(瑞)のブロックやスパイクがさえ、セットを連取した。後のない埼玉上尾はセッターを常永に代え流れを変える。終盤、青柳のサービスエースやブロックが決まり、粘るJTを28-26で振り切った。第4セット、リズムに乗った埼玉上尾が終盤リードし、フルセットに持ち込んだ。第5セット、JT先行のゲーム展開となったが、埼玉上尾はシュニャルにトスを集め12-12で追いつき、そのままの勢いで首位を走るJTを振り切り3-2で勝利した。												

試合番号 : 412		試合会場 : ベイコム総合体育館				観客数 : 1,600						
開始時間 : 15:25		終了時間 : 17:16		試合時間 : 01:51		主審 : 増岡 三佳子		副審 : 江下 毅				
東レアローズ		通算	13勝	5敗	20	第1セット	25	KUROBEアクアフェアリーズ		通算	1勝	17敗
			ポイント :	40	25	第2セット	21				ポイント :	5
監督コメント	第1セット、KUROBEがポジションチェンジをしていたことでディフェンスが機能せず、リズムに乗れないまま第1セットを落としてしまいました。また第2セット以降もサーブレシーブの崩れや、同じ攻撃を決められるなど課題の多い試合となり、そのような中で第3セット、デュースの場面で我慢し続けセットをとれたことは良い点であったと思います。レギュラーラウンド残り3試合、とても大事な試合が続く中、チームの粘り強さ、連携力を高め苦しい場面でしっかり勝ち続けなければならない。尼崎大会ということで、地元滋賀の方々を中心に多くの声援を頂き誠にありがとうございます。		3				1	監督コメント	ここ数試合、なかなか自分たちのリズムがつかめず、一方的な展開での敗戦が続いていた為にチームのモチベーションも低下し、苦しい中で試合でした。しかし、第1セットから東レのプレーにも助けられ、先取することが出来ました。第2セットを取られた後の第3セットが勝負の分かれ目でした。デュースまで粘ったものの最後はこちらのミスでセットを失った。第4セットは集中力が途切れ、一方的な展開で敗れてしまいました。本日の反省を元に修正し、明日のゲームの準備をしたいと思えます。今後ともご声援よろしくお願いします。			
要約レポート												
第1セット、東レアローズはクランを中心に攻撃を組み立てリードするも、KUROBEアクアフェアリーズはリーや細沼のコンビを使った攻撃で反撃し、KUROBE16-15でTTOとする。ここからKUROBEのリーが左からの強烈なアタック、巧みなフェイントと大車輪の活躍、25-20で先取した。第2セット、東レ井上の効果的なサーブで相手を崩し点数を重ねるのに対し、KUROBEも雪丸のブロック、小西のサービスエースで応戦。中盤KUROBEは16-17と詰め寄るが、東レは関、水杉の好レシーブをクランがきっちり決めるなど6連続得点。25-21でゲームを振り出しに戻した。第3セットは、両者一歩も譲らないまま終盤へともつれ込む。KUROBEはリー、東レはクランの面外国籍選手の見応えある打ち合いを繰り広げるが、最後は東レ大野のアタックで33-31と大接戦の中、このセットをものにした。第4セット、東レは第3セットを取った勢いに乗じて得点を重ねる。KUROBEもセッターに白崎を投入して反撃を試みるが、東レは着実に点を重ね、食い下がるKUROBEを突き放し勝利した。												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	-勝	-敗		第1セット				通算	-勝	-敗
			ポイント :	-		第2セット					ポイント :	-
監督コメント								監督コメント				
要約レポート												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	-勝	-敗		第1セット				通算	-勝	-敗
			ポイント :	-		第2セット					ポイント :	-
監督コメント								監督コメント				
要約レポート												